



左) ご主人

右) 草深みつよ理事

## 組織の概要

面積：3,183ha

組合員：5,500人

理事：31人（うち女性員内1人）

監事：3人（うち女性0人）

職員：12人（うち女性2人）

理事登用方法：5選任区から総代11人が推薦人になり候補者を推薦。

## 登用までの流れ

令和6年3月13日 総代会にて選任（選任制）

3月14日 理事就任（任期：令和6年11月7日）

補欠選任で就任されました。その1年前に次期役員改選に向けて総代と役員（管内全地区を対象）に女性理事の登用を実現するためなどを目的にアンケート調査（女性耕作者の在否、他）を行いました。ご紹介いただいた女性耕作者の中には、欠員となった被選任区の方も見え、推薦会議が理事を推薦する参考にしていただきました。

くさふか

草深みつよ 理事



## 草深さんが理事を引き受けるまで

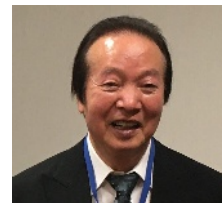
ご夫婦で農業生産法人を経営され、息子さんや娘さんたちも一緒に働いています。

草深さんが理事を引き受けるまで、同地域の担い手さんからの推薦と、法人代表取締役であるご主人さんやご家族の理解もあって快くお引き受けいただきました。

ご夫婦が農業に取り組む姿を見て、娘夫婦はスマート農業に取り組み、長女さんは大型トラクターの免許を取られ、次女さんは販売に力を入れたと考え簿記検定を取るなど皆が自身の考えを持って頑張られています。そして、とにかく皆さんよく笑い明るいご家族です。

たむらむねひろ

田村宗博 理事長より



実際に耕作をされている女性の視点から、男性耕作者とはまた違ったご意見を聞かせていただけることを期待しています。



左) 山口理事 右) 佐藤理事長

### やまぐちのぶこ 山口信子 理事



#### 経歴

地元では、婦人会会長として、若い女性と共に活躍中。  
また、令和6年度より、雲出井下流地区の高郷井土地改良区の女性理事も就任しました。

#### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

今まで、土地改良区のことには亡き父に任せておりました。  
今回、自分が理事に就任して、区報で全組合員に紹介してもらったことで、近所のおじちゃんおばちゃんから声をかけられるようになりました。  
田んぼのことについて、気楽に話が聞けると、喜んでもらっています。  
また、畑にいと、野菜作りの手ほどきを受けたりしています。

### 組織の概要

面積：468ha  
組合員：873人  
理事：8人（うち女性員内1人）  
監事：4人  
職員：2人（うち女性1人）

### 山口さんが理事を引き受けるまで



事務局

#### ※どのように説得したか。

地元出身で現在に至るまで、長年、地域に慣れ親しんでおられ、また、地元からの絶大な推薦があり、農業に対する意識も高いことから、地域の農業のために力を貸してもらえないでしょうか。



山口理事

#### ※引き受けた決め手。

自宅の横を用水路が流れています。いつまでも善良に維持管理されるよう、微力ですが、お役に立てればと思います。

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和5年3月11日 役員選挙  
(無投票の当選)  
4月1日 理事就任  
(任期：令和9年3月31日)

### さとうけんいち 佐藤研一 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。



長い歴史のある土地改良区で、初の任していただきました。  
男性社会であると言われる農業に、女性目線や立場での考え方や関わり方を、役員みんなで共有していきたいと思っています。

### 事務局コメント

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

山口理事のおかげで、理事会の雰囲気がからりと変わりました。  
飾らない言葉でストレートに意見を述べていただくので、いつも笑いが絶えません。  
ありがたい存在です。

# 深溝土地改良区 (三重県)

深溝土地改良区では、令和4年4月に員外女性監事1人が選任されていたため、女性が複数人となることきっかけとなり令和6年4月に初の員内女性理事1人が誕生

## 「重労働は旦那、会議等は私、一家で二刀流」



新旧役員集合写真

前列左から4人目 名村理事長、右隣小川副理事長  
後列右から4人目 井上理事

### いのうえみねこ 井上峰子 理事



#### 経歴

結婚と同時に深溝から離れていたのですが、実家の父が1人住まいとなり、農業もできなくなってきたため、主人と実家に戻り、田畑を管理しています。

#### 理事になって思うこと

(男女共同参画について思うこと、課題や解決のためにできることなど)

まず、正直に思うことは、任期の4年間というのは長過ぎる。そもそも土地改良区という団体の存在や内容が全く分らなかった。

これからの4年間で務めていく内に、分かってくるかわからないが、とにかくやってみて興味が湧いてくるような何かがあるといいなあと思っています。

#### 女性理事登用を進めるための秘訣 (女性側からの、これから進めようとする土地改良区へのアドバイス)

女性登用は、1人だけではなく複数人の選任により孤独感をなくし、協調できる環境が大切です。同時に、候補者の家族の協力は不可欠です。

### 組織の概要

面積：167ha

組合員：246人

理事：15人 (うち女性員内1人)

監事：3人 (うち女性員外1人)

職員：1人 (うち女性1人)

通常の方法：15選任区から各1人ずつの推薦により  
登用方法 候補者を選出している。

### 井上さんが理事を引き受けるまで



事務局

#### ※どのように説得したか。

前任の理事から「地域を熟知されていることから、女性ならではの視点で運営に携わってほしい」また、「会議や軽作業はお願いしたいが、大変な作業は、ご主人にお願いいただけませんか」で説得いただきました。



井上理事

#### ※引き受けた決め手。

父から引き継ぎ、農機具もあり、田畑を守っていこうと考えていたため、土地改良区理事の就任には、女性監事もいらっしゃることもあり、あまり抵抗はなかったです。

任期の4年間で出来ることをさせて頂き、主人にも強力してもらいながら務めさせて頂きます。

なむらえいいち

### 名村英一 理事長より

※女性理事登用を進めた動機やきっかけ。女性理事への期待。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

これまでの役員選任時の選任区から推薦は、男性のみであったが、近年、土地の相続を娘さんが受けるケースが多くなってきました。

このことから、今回の改選で女性理事の就任が実現できました。これを契機に今後は女性理事が仕事等出来ない時は、その家族に手伝ってもらう前例となりましたので、地域での土地改良区の知名度、理解度も増し、農業への関心も深まるのではないかと期待しております。

たちえつお

### 館悦夫 代表監事より

※登用によって土地改良区に生じた変化。これから進めようとする土地改良区へのアドバイス。

就任したばかりですので、登用の効果はこれからだと思いますが、登用には、特に組合員の家族ぐるみでの理解が重要で、土地改良区の役割なども情報発信することで関心を持ってもらうことが、次期改選に向けて計画的な女性理事の登用へと繋がっていくのではと考えております。

ただ各選任区の組合員の高齢化により、田畑の管理が伴わなくなり、後継者は農業に関心がなく、耕作放棄地の増加や担い手不足から存続を危惧しております。

### 登用までの流れ

選挙制 ・ 選任制

令和6年3月17日 総会にて選任

令和6年4月1日 理事就任

(任期：令和10年3月31日)